

# オオサカン楽員の 楽器の小部屋～オオサカンサウンドの源～

楽員と楽器の関係を探る連載企画、第2弾は **トランペット奏者 岡原さつき!** 楽器へのこだわりや大事にしていることを伺います。

トランペット  
岡原 さつき Satsuki Okahara



## 現在使っている楽器は？



- 1 B♭管：YAMAHA・YTR-9335CHS
- 2 ピッコロトランペット：Schilke(シルキー)・P5-4 SP
- 3 C管：YAMAHA・YTR-9445CHS
- 4 フリュージェルホルン：YAMAHA・YFH-631GS
- 5 コルネット：YAMAHA・YCR-6330SII

## この楽器を選んだ理由や気に入っているところは？

今メイン楽器として使用しているYAMAHA・YTR-9335CHSは、第26回定期演奏会ゲストのクリストファー・マーティン氏(ニューヨークフィルハーモニック首席トランペット奏者)に選んでいただいた、YAMAHAのシカゴモデル第3世代です。それまで私は第1世代の金メッキを吹いていたのですが、一般的に金メッキの方が銀メッキよりも抵抗が強い分パワフルに演奏が出来る、音をまとめてくれる特徴があります。今使用している第3世代の銀メッキは、金メッキ同等のパワフルなサウンドと、繊細さも兼ね備えたとても素晴らしい楽器です。

トランペット奏者は金管楽器の中でも1人で担当する楽器の種類が多いので、たくさん持っていないといけません。基本的にパートでサウンドを揃えるために、まずはメーカーを揃えるようにしています。そしてコルネットに関しては、トランペットとの持ち替えがしやすいように、元々コルネットシャックのものをトランペットシャックに改造し、抜差管も調整しています。コルネットに関してはまだ実験中ですのでこれからも変わっていく可能性があります。

**改造ポイント** 本来トランペットとコルネットではマウスピースの長さが異なり、シャック(マウスピースを差す部分)の形状も異なります。この楽器はトランペットのマウスピースでコルネットを演奏できるように、マウスピースレシーバーをトランペットシャックに改造しているのです。



## 各パーツのこだわりポイントは？

### ▶マウスピース

こちらも楽器と同様、当時マーティン氏が使用していたマウスピースと同じものを使用しています。PARKE(パーク)というメーカーのもので3つに分かれます。現在の使い方は、クラシックとポップスでカップの部分を変えています。



この2箇所ので分かれる

カップ：クラシック用/ポップス用



### ▶ミュート(弱音器)

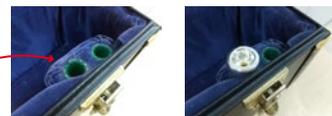
ストレートミュートと指示があっても、曲や場面によって合う音色が違うので、毎回たくさんのストレートミュートをパート全員用意しています。現在、主に使用しているのはTrumCor(トランコル)というメーカーのもので、金属のほかにもファイバーや籐・木製のままであり、音色にこだわることができています。

## 楽器ケースのポイントは？



正指揮者の松尾さんがこだわって作ったケースを便乗して購入しました。マウスピースに傷が入らないようにマウスピースを差すところをホースで作成して

いただいたり、コルネットが入るように中を少し広めに作ってもらったのですが、他のケースと同じサイズになるようにしていただきました。楽器が2本入れられるので1本しか必要のない時は、譜面台やミュート・スタンドも入れられます。



ホース

## 練習の際、常に持ち歩いているものはなんですか？



オイル(1)とグリス(2)とスワブ(3)、そしてペットシート(4)演奏時の結露水用)は必ずケースに入れていきます。ピストンがスムーズに動くために必要なオイル、管同士に響きがちゃんと伝わるお手伝いをしてくれるグリス、そして、リードパイプ内を常に綺麗な状態に保つため、毎日練習後にスワブを通します。



ピストン

リードパイプ

## 楽器を演奏する時に大事にしていることは？

楽器を始めた中学生の時から、顧問の先生の教えもあり、想いを音に乗せるように演奏してきました。そしてその想いを確実なものにするため、音色や音程も日々追求しています。それを基本に、私は常にオオサカンサウンドを意識しています。「今、私はオオサカンサウンドで演奏できているか…」日々問いかけています。オオサカンサウンドは、私はパイプオルガンのような音がすると思っています。その音を作り上げるための私の役割は、まずはサウンド、そして、音の長さを意識するようにしています。1人では作れない、オオサカンメンバー全員で作るサウンドをとっても大事にしています。

## あなたにとって「トランペット」とは？

私自身です。当たり前のようにいつもそばにいて、無意識に考えてしまう存在。それは自分と変わりが無い存在。まさに自分です。

